

広報

温か味、おとどけ。

2018

7

おいしだ

大石田町

No.745



大石田中学校**職場体験学習**

P2~3

8月15日・16日は**大石田まつり**

P4~5

KOEnoKURA まもなく**1周年**

P6

■表紙写真

トムソーヤの冒険 in 最上川 (6月23日)
小学生23人がボートに乗り込んで、最上川を
全身で満喫しました。

庄司薬局

(遠藤大騎さん、増川史華さん)

お客さんが持ってきた処方せんを読み上げ、調剤する庄司さんのお手伝いをしました。処方せんに書かれている薬の名前は聞きなれないカタカナや読めない漢字が多くて難しかったです。それに、お客さんの健康に関わることなので絶対に読み間違えないよう気を使いました。庄司さんは、お客さんの表情がよくなったり、薬の量が減ることがうれしく仕事の励みになると話していました。



横丁とうふ店

(八鍬修平さん、森さくらさん、高橋杏莉さん)

白い団子を串に刺したり、皿洗いや米の計量などを体験しました。お客さんの口に入るだんごなので、串刺しは専用の服を着て行き、衛生にとっても気を使っていました。お客さんが持ちやすいよう慎重に、まっすぐ中心に向かって刺すことを心がけました。小さな団子ですが、一本一本にたくさんの手間がかかっている、想像以上に体力を使う仕事だと知りました。

そば吉峰

(後藤怜桜さん、長瀬叶翔さん)

開店前の準備やお客さんへの接客とそば打ちを体験しました。接客では星川さんに教えていただいたお客さんの心の動きを先に考えるということに気がついて、相手と同じ目線で話すことに気がつきました。そば打ち体験は生地をのぼす作業、そば切り包丁を入れるところ、同じ太さで切り続けることなどすべての作業がとても難しくプロのすごさを感じました。



尾花沢市消防本部

(遠藤太胡さん、須藤雄介さん)

心臓マッサージや人工呼吸など応急処置の仕方を学んだり、放水訓練を体験しました。消防署では実際の火事や交通事故を想定した訓練を毎日していて、仮眠室や通信室などもあってつねに24時間体制で働いています。水が出るホースはとても重かったのですが、火事の現場では体験したよりもっと大きな力がかかるホースを何時間も持ち続けなければいけないと聞き、カッコいい仕事の裏側を知ることができました。

「取材」を通して感じたこと

小玉 空さん

取材という仕事を通して、みんなが体験している仕事が多様なものなのか見ることができました。写真はどの撮った方がいいのか、インタビューは何を聞けばいいのかなど、はじめは何も分からなかったのですが、何度も体験することで少しずつできるようになり、手ごたえと達成感がありました。



大山 愛理さん

2日間の体験で「働く」って難しいなあと感じました。どの仕事もあいさつや相手への心配りを常に大切にしていました。頑張ったときの達成感や喜びは、学校生活でも仕事をするようになってからも大事にしていきたいです。さまざまな人の協力で仕事が体験できたことにうれしく思いました。



職場体験に協力いただいた事業所
ふたば保育園、ふたば児童センター、
ふたば横山保育園、仁風荘、ソーレ
大石田、菅野測量設計、国土交通省
新庄河川事務所大石田出張所、尾花
沢市消防本部、大石田郵便局、あつ
たまりランド深堀、美容室ビーンズ、
JA大石田宮農センター、大石田ゴ
ルフクラブ、そば吉峰、喫茶トトロ、
桐井電気工業、笹金板金、木内商店、
庄司薬局、横丁とうふ店、カクイチ
商店

「働く」ってどういうこと?

大石田中学校の2年生56名が、7月5日(木)、6日(金)の2日間にわたり町内約20か所の事業所で職場体験を行いました。これは「働くこと」を通じて人の役に立つことの喜びや達成感を味わい、働くことについて考えてもらうことを目的に毎年行われているものです。

今回、役場総務課で職場体験を行った大山愛理さん、小玉空さんの2人は町内各地の事業所で体験する生徒や大人たちの取材から紙面づくりまで行い、「働くこと」の意味について考えました。



あつたまりランド深堀

(齋藤匡さん、今野佑泉さん、高橋由衣さん)

受付での接客や「虹の館」の風呂、廊下の掃除を体験しました。あいさつの仕方やおじぎの角度、受付での姿勢を学び、元気に「いらっしゃいませ」と明るい接客を心がけました。虹の館では朝のミーティングにも参加し、大きな風呂や長い廊下の掃除を体験し、お客さんに気持ちよく過ごしてもらうためこんなに細かいところまで気を使っているんだと、驚き勉強になりました。

カクイチ商店

(安達結子さん)

開店準備として窓拭きやはき掃除、お店に商品を並べる作業を体験しました。また、発注された商品を数えて車に積み込み、配送先に届ける仕事も体験しました。お店に果物などを並べる作業では、お客さんにおいしさが伝わるように気を使って並べなければいけないということ学びました。配送先に荷物を届けると「ありがとう」と笑顔で受け取ってもらえました。



大石田保育園

(海藤みあさん、井刈真菜さん)

3歳児・4歳児の保育を体験しました。絵本の読み聞かせやおままごとなどで子どもたちと一緒に遊んだりしました。読み聞かせでは子どもたちが絵本の取り合いになってしまい困りましたが、「一緒に読もう」と声をかけると仲良く楽しんでくれました。個性が違う子どもたちにはじめは戸惑いましたが、子どもたちのほうから「一緒に遊ぼう」と声をかけてもらい、とてもうれしかったです。

8/16 最上川花火大会



◆午後3時～
川供養
川端地内（船着場）

◆午後5時30分～
神輿渡御
大桂睦会・山形連合
佐田町 ⇒ 本町 ⇒ 四日町

◆午後6時15分～
神輿渡御
成人神輿（平成30年度成人者一同）
本町 ⇒ 四日町

◆午後7時～
最上川花火大会・灯籠流し
※小雨決行
（荒天時のみ最大19日まで順延）

大石田の「元氣」を日本中に！ 大石田まつり

8/15 維新祭

会場：JR 大石田駅前広場

◆午後1時30分～
おまつり屋台、すいか割選手権
会場には「はたらく車」が大集合

◆午後3時30分～
踊りと太鼓の競演
「北の躍動プロフェッショナル」

◆午後8時20分～ MIM発表
各団体からのお土産抽選会
・MIM（最も維新祭を盛り上げたチーム）の発表と
参加した各団体からのお土産が当たる抽選会

◆午後8時25分～
みんなでフィナーレ みんなで踊ろう
・みんなでフィナーレ。一緒に踊りましょう。



大石田まつりフォトコンテスト作品募集

大石田まつりの部・維新祭の部
各部門 特選（1点）賞金30,000円 入選（3点）賞金10,000円 佳作（5点）記念品
◆応募締切 9月10日（月）
◆大石田町ホームページをご覧ください。
上位入賞作品は広報おおいしだ、町ホームページに掲載します。

臨時列車「大石田まつり号」が運行

最上川花火大会の終了予定時刻に合わせて臨時列車「大石田まつり号」が運行されます。まつり当日は大変混みますので、少しでも混雑を緩和するため、電車のご利用をお勧めしています。

◆JR大石田駅発 午後9時44分
上り各駅停車（山形行き）

友人や知人の方などが町外からお越しの際は、混雑を避けるため電車の利用をお勧めください。

観覧桟敷席予約受付中！

町民号「20号10連発」をはじめ、大型花火の光と音の競演を、ゆったり味わってみませんか？

◆サイズ：1.8m×1.8m
1マスに6人～8人座れます

◆料金：1マス 16,000円
残席わずかです。申し込みは下記までご連絡ください。8月14日以降のキャンセルの場合は返金できませんのでご注意ください。当日発売のペア席もあります。

■大石田町商工会青年部 Tel 35-2131

出演予定団体

- ・大石田観音和太鼓クラブ（大石田町） ・フラ・ハーラウ・カフラ・オ・ハワイ（山形市）
- ・大石田小唄保存会（大石田町） ・大石田中学校生徒会（大石田町） ・雪国鷹巣太鼓保存会（大石田町）
- ・山形殺陣乃会 紅蓮羽（山形市） ・最上川芭蕉連（大石田町） ・うつくしま連（郡山市）
- ・んだず連+かっぱ連（山形市） ・尾花沢市花笠踊りお披露目隊（尾花沢市）
- ・高倉薬（ひこばえ）太鼓（大崎市） ・いでは組（東根市） ・村山徳内囃子 戸沢友遊連（村山市）
- ・花笠踊り元祖会・大石田町民謡研究会（大石田町） ・涌谷太鼓（涌谷町）
- ・大石田維新組（大石田町） ・四方山会（山形市）

※出場団体や内容などは変更になる場合もありますのでご了承ください。

■大石田まつり委員会事務局 役場産業振興課 Tel 35-2111 (145・146)

■大石田まつりを10倍楽しくする会事務局 役場総務課 栗田 尋木 Tel 35-2111 (214)

明るく、楽しく、元気に!!

第25回大石田町ソフトバレーボール大会

大石田町ソフトバレーボール大会が、7月1日(日)大石田中学校体育館で開催されました。大会には、レディースの部と一般の部があり、レディースの部には5チームがエントリーし、「MAX」が圧倒的な強さで大会17連覇を果たしました。

また、一般の部には3チームが参加し、総当りのリーグ戦を戦い「160未満」が優勝しました。参加者はバレーボールを通じた交流を楽しみながら、熱い戦いを繰り広げていました。



17連覇達成!



レディースの部

- 優勝 MAX
- 第2位 イースターズ
- 第3位 チームらら

一般の部

- 優勝 160未満
- 第2位 モンチッチ's
- 第3位 A&I



第21回山形県ジュニア駅伝競走大会

大石田チーム結団式



蔵王坊平高原クロスカントリーコース(上市市)を会場に8月5日(日)に開催される、第21回山形県ジュニア駅伝競走大会に出場する大石田チームの結団式が7月11日(水)に虹のプラザ中会議室で開かれ、選手19名にエールが送られました。遠藤純也監督からの選手紹介を受け、元気に返事をする姿は堂々としており、みなぎる闘志と勇ましさを感じられました。

これから夜間練習と現地トレーニングを行い、大石田町の代表として大会に臨む選手たちに、皆さんのご声援をよろしくお祈りします。

山形県スポーツ推進員協議会 会長表彰



このたび、森清さん(井出・右)と海藤藤雄さん(朝日町・左)が山形県スポーツ推進委員連合会会長表彰を受けました。

これはお二人が町の体育指導員やスポーツ推進委員として長年にわたり地域住民のスポーツ活動を推進し生涯スポーツ社会の実現に尽力された功績が認められたものです。

大変おめでとうございます。

大石田駅前賑わい創出拠点施設

こえのくらが、間もなく1周年を迎えます!



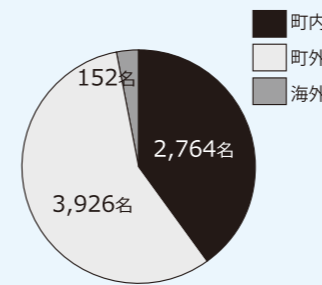
KOE no KURA(こえのくら)は、昨年8月9日にオープンしてから、町の方には、サークル活動・授業・会議等で使用され、観光客には大石田町を紹介し知ってもらう場所として約1年の月日が経過しました。偶然そこに居合わせた人同士が交流する様子が見られ、一歩ずつですが“大石田駅前賑わい創出拠点”に近付いてきています。

間もなく1周年を迎えるKOE no KURAのこれまでの報告します。

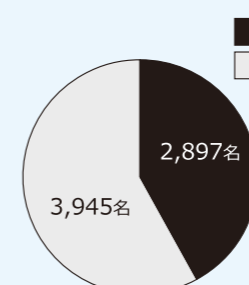


来館者数：6,842名(29年8月～30年6月末まで)

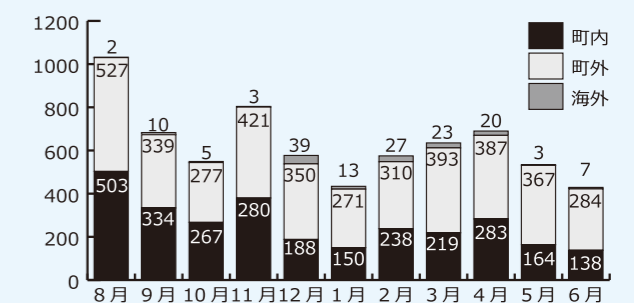
《町内外比率》



《男女比》



《月別来館者数》



30年6月末までの来館者数は、6,842名。町の方2,764名にご利用頂きました。初めはどんな場所なのか問合せも多かったのですが、存在が少しずつ認知され、最近はイベント参加やレンタルBOXの作品を目的に、また、自身の熱い思いを打ち明けにお越し頂く方が増えてきました。

観光客には、山形旅行で良い思い出が残るように、偶然その場に居合わせた町の方を巻き込みながら、旅行先でのヒトやコトとの出会いの場として利用いただいています。

これからも、大石田町全体の紹介ができるような仕掛け作りを頑張っていきます。ぜひ遊びに来てください!



素早く正確な動き競う

平成30年度北村山支部消防操法審査会が、6月24日(日)にJAみちのく村山西部スイカ選果施設で開催されました。この審査会は、ポンプの始動やホースの延長といった放水作業の素早さと正確さを競つもので、毎年開催されています。今年はポンプ車4台、小型ポンプ7台が出場しました。

団員たちは、連日夜間の訓練に励んで審査会に臨み、それぞれが積み重ねてきた練習の成果を出し切ろうと、力のこもった操法を繰り広げました。

ポンプ車の部



個人賞
小関 匡史
第4分団第1部第1班

最優秀			
指揮者	芳賀 富弥	第4分団第1部第1班	(豊田)
1番員	小関 匡史		
2番員	齋藤 貴則		
3番員	芳賀 忍		
4番員	柴田 勝弘		
補助員	柏倉 隆一		
優秀			
指揮者	畑中 光	第1分団第1部第1班	(下宿)
1番員	齋藤 伸幸		
2番員	木村 玄輝		
3番員	小内 英雄		
4番員	木村 秀樹		
補助員	大友 進		

小型ポンプの部



個人賞
松倉 慎
第2分団第4部第2班

最優秀			
指揮者	遠藤 友昭	第4分団第2部第3班(次年子)	
1番員	海藤 陵志		
2番員	海藤 正樹		
3番員	森 勇貴		
補助員	柳橋 光広		
優秀			
指揮者	加藤 潤	第2分団第4部第2班(曙町)	
1番員	三浦 崇		
2番員	松倉 慎		
3番員	高橋 老人		
補助員	横山 充		
第3位			
指揮者	海藤 裕	第1分団第2部第2班(坂ノ上)	
1番員	荒木 義樹		
2番員	小内 和弥		
3番員	有川 隼人		
補助員	寺崎 友也		

ポンプ車の部の最優秀を受賞した第4分団第1部第1班(豊田)と、小型ポンプの部の最優秀を受賞した第4分団第2部第3班(次年子)は9月9日(日)に東根市で開催される山形県消防協会北村山支部消防操法大会(郡大会)に出場します。

まちとしよ

～大石田町立図書館 information～

大石田町町民交流センター「虹のプラザ」内 ☎ 35-3877
公式HP <http://niji.town.oishida.yamagata.jp/library/>



- 開館時間／午前9時～午後7時(日曜日・祝日は午前9時～午後5時)
- 休館日／毎週木曜日・特別整理期間ほか《8月の休館日》2日(木)・9日(木)・16日(木)・23日(木)・30日(木)

8月の行事おしらせ

日時・場所	内容
8月5日(日) 10:30～11:15 図書館 おはなし コーナー	『夏のスペシャルおはなし会～夏をおもいきり楽しもう!～』 おはなしは『セミがうまれるよ』、『すいかのたび』、大型絵本『にじいろのさかな』など!おはなしの後は、つり大会をするよ!何がつれるかは当日のおたのしみ☆みんなできてね!
8月7日(火) 9:30～11:00 虹のプラザ 2階小会議室3	「館長と科学あそび～かんたんな工作とあそび～」 夏休み期間に、親子で科学実験をしてみませんか?科学の得意な池田館長がやさしく&楽しく教えてくれます♪司書による自由研究や調べ学習の本の紹介コーナーもありますよ★みんなで科学を好きになっちゃおう! ○対象 小学4～6年生・中学1年生とその親15名まで ○申込み 8月3日(金)まで図書館へ (電話・メール・図書館カウンターのいずれか)
8月21日(火) 10:00～11:30 虹のプラザ 2階小会議室1	読書会『「百人一首」を読む』 読書会「百人一首」 77～82番の歌 嘆きの恋歌3首・夏秋冬の歌各1首 ○申込み 前日まで ☎35-3877へ ○テキスト 「百人一首」の本をお持ちなら、ご持参を。これからお求めなら「角川ソフィア文庫ビギナーズクラシック『百人一首』」をご用意ください。

館長と科学あそび

～かんたんな工作とあそび～



平成30年8月7日(火)
午前9時30分～午前11時

参加費無料!



今月は、どの本を読む?

— 今月のおすすめ本をご紹介します —



二神 弓子著
『骨格診断×パーソナルカラー 賢い服選び』



太宰 幸子著
『みやぎ不思議な地名 楽しい地名』



頭木 弘樹編
『絶望図書館 立ち直れそうもないとき、心に寄り添ってくれる12の物語』



瀧羽 麻子著
『ありえないほどうるさいオルゴール店』

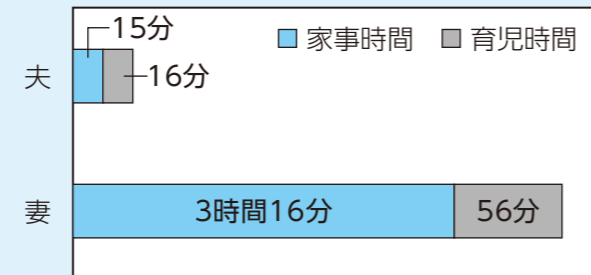
あなたの家庭での男女共同参画は？

図1：夫婦世帯における共働き世帯割合

順位	都道府県	世帯割合
1	福井県	58.6%
2	山形県	57.9%
3	島根県	56.9%
大石田町		64.3%

■資料：H27国勢調査

図2：共働き世帯夫婦の家事育児時間（1日あたり）



■資料：H28社会生活基本調査（全国平均）



大石田町は夫婦共働きの割合がすごく高いんだね。

女性は家に帰ってもこんなに働いているんだね。少し家事を手伝ってもらうだけで助かるなあ。



男性も家事や育児に参加を

かつては、男性は一家の大黒柱として外で働いて家族を養うもの、女性は家庭の中で家事や育児をするものという仕事観・家庭観が根強く社会で共有されていました。

しかし、最近は、夫婦共働きの世帯が増え、男性も家事や育児に参画するのが当たり前の時代となりました。



男性のみなさん！
『プチ家事』から始めてみませんか？

- 食器を片づける
- 食器を洗う
- 米をとぐ
- 食材の買い出し
- お風呂の掃除
- 洗濯物を干す
- 朝ごはんの準備

男性も女性も「ありがとう」の感謝の言葉を伝えましょう♡

一人ひとりの行動で 男女共同参画社会を実現しよう

男女共同参画社会とは

男女がお互いに尊重し合い、性別にかかわらず、社会のあらゆる場面で一人ひとりの個性や能力を十分に発揮し、喜びや責任を分かち合う社会のことです。

家庭では

「男は仕事、女は家庭」って決めつけないで！
誰でも家事、育児、介護を平等に担います。

職場では

どんなに忙しくてもお茶を出すのは女の役割？
男女がそれぞれの能力を発揮し共に責任をもって働きます。

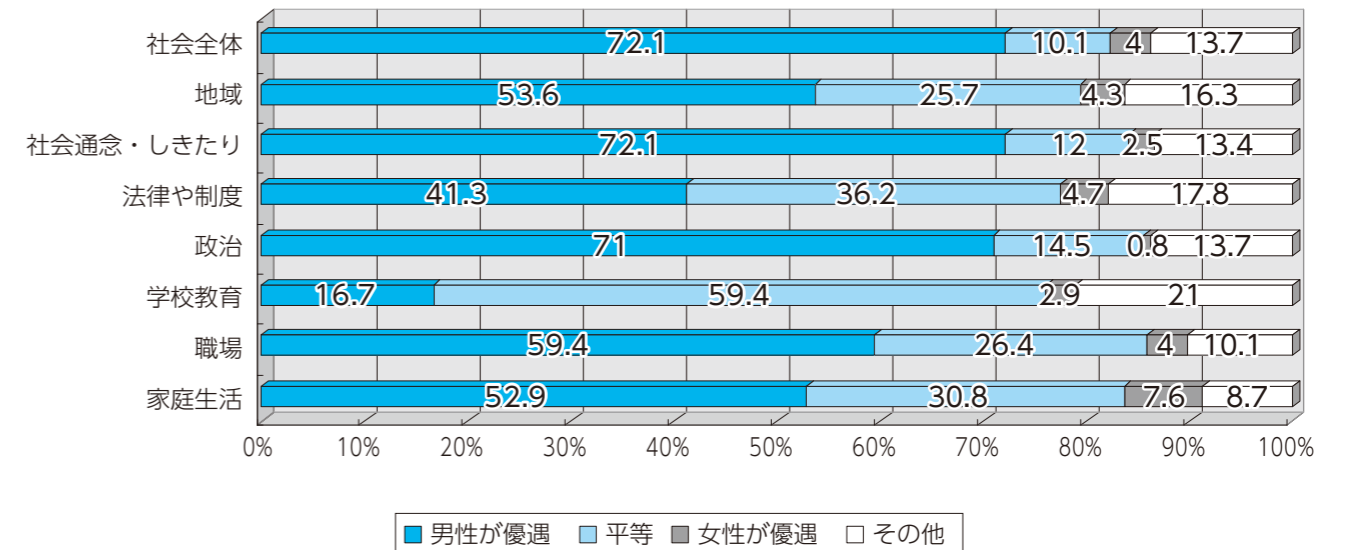
地域では

古くからの慣習にとられないで。
男女が対等な立場で地域活動やまちづくりに参加します。

学校では

男も看護師や保育士目指していいよね。
性別に関係なく、個人の能力や適性に基づいた将来の選択ができます。

■資料：H28「大石田町男女共同参画計画策定に係る町民意識調査」



男女の扱いの平等性について見ると、「平等」と答えた割合が最も高いのは「学校教育」で59.4%と5割を超えています。しかし、「政治」、「社会通念・しきたり」、「社会全体」など多くの場面では、平等とは言えないようです。

男女共同参画社会を目指して

大石田町では「大石田町男女共同参画計画」を策定しています。

～もっと詳しく知りたい方は～
町公式ホームページ

大石田町男女共同参画計画

検索



彩り豊かな和菓子作りを体験



ウ ロコヤ総本店（尾花沢市）で7月7日（土）に「わくわくお菓子教室」が開かれ、町内の小学生15名が上生菓子作り挑戦しました。このお菓子作り教室は大石田町総合体験活動事業の一環として毎年行われているものです。

教室では、和菓子職人が作り方を実演したあと、子どもたちは白あん（きしつ）に求肥と山芋を入れて練り上げた練りきり餡を平たく伸ばしたり、こねて丸めたりしながら菓子作り挑戦し、それぞれがアレンジを加えた表情豊かなキャラクターやさくらんぼ、あじさいをかたどった色鮮やかな上生菓子を作りました。

奥の細道サミット開催

奥 の細道サミット in 大石田が7月14日（土）、15日（日）の2日間、虹のプラザなどで開催されました。サミットには俳人松尾芭蕉が「おくのほそ道」紀行で足跡を残した自治体など全国の42団体が加盟していて、7月14日は芭蕉が大石田を訪れた旧暦5月28日にあたります。14日は加盟団体の関係者約60名が出席して総会が開かれ、「奥の細道」の日本遺産への再申請や、芭蕉の旅から330年を迎える来年度に記念事業を行うことなどを話し合いました。

続いて行われた記念講演では、フリーアナウンサーの福澤朗さんが俳句にからめて自身のコミュニケーション術を紹介しました。15日は、芭蕉が訪れた乗船寺や向川寺などでサミット参加者らの見学が行われました。



みんなで登ろう大高根山

や まがた百名山に数えられる大高根山（標高542.9m）に登る町民登山が7月8日（日）に行われ、約40名が町で一番高い山の頂上を目指してさわやかな汗を流しました。町民登山は登山道を整備している「大高根山の会」（遠藤廣吉代表）が企画して毎年行われています。

今回は、会のメンバーが木の枝や下草を刈り払って新たに整備した八森山コースを登り、途中何度か休憩を入れながら約2時間で大高根山の頂上へ到着しました。この日はあいにくの曇り空でしたが、頂上付近では晴れ間から町が一望でき、参加者は心地よい汗をぬぐって、眺望を楽しんでいました。



きれいな川を大切に



大 石田北小学校の4年生児童による水生生物調査が6月25日（月）にすいか橋近くの丹生川で行われました。これは自分が住む地域の川について知識を深め、川を大切にしてもらおうと国土交通省新庄河川事務所が企画したものです。子どもたちは水の中に入り、河川事務所職員の指導を受けながら川底の石をひっくり返して指標となる水生昆虫を採集しました。

調査ではきれいな水を好むヒラタカゲロウ類などが多く見つかり、調査地点の水質は「きれいな水」と判定されました。河川敷にごみを捨てない、汚水を川に流さないなど、きれいな川を守っていくため、みなさんのご協力をお願いします。

ボートで最上川を体感



ゴ ムボートで最上川を下るトムソーヤの冒険 in 最上川が6月23日（土）に行われ、町内の小学生23名が、川端地区から川前地区までの約5キロの川下りに挑戦しました。この「トムソーヤの冒険シリーズ」は、町教育委員会と放課後子どもプラン運営委員会の主催で毎年行われているものです。子どもたちはゴムボートに乗ると、大石田アウトドアクラブ遊Be 隊のメンバーに教わりながら、パドルを使って力いっぱいボートを漕ぎ約5kmを1時間半かけて下りました。

子どもたちは水鉄砲やパドルを使って水をかけ合うなど、普段見慣れていても味わうことのできない体験で、最上川とのふれあいを満喫しました。

作家野田知佑さんと川下り

作 家でカヌーイストの野田知佑さんによるトークショーが、6月30日（土）に虹のプラザ多目的ホールで開かれました。これは大石田アウトドアクラブ遊Be 隊（柴田和徳代表）が主催したもので、会場には約80名の熱心なファンが詰め掛けました。ステージにはテントやテーブルが設けられ、野田さんが過去にカヌーで下った国内外の川のスライドが映し出されるなか、野田さんはアウトドアチェアに腰かけ、北米ユーコン川など海外での体験や国内の川の現状、最上川の魅力などを語りました。

また、翌日は最上川カヌーツーリングが催され、参加者約30名が川端地区の舟着場から名木沢橋までの約12kmをゆったりと楽しみました。



大石田町建設業協会 西日本豪雨災害に義援金

7月上旬に発生した西日本の豪雨災害に対する支援として、大石田町建設業協会の会員が7月17日（火）に役場町長室を訪れ、義援金10万円を庄司町長に手渡しました。お預かりした義援金は日本赤十字社を通じて被災地へと届けられます。



義援金の募金箱を下記の場所に設置していますので、町民の皆さまのご協力をお願いします。

◆設置場所 役場正面玄関、虹のプラザ、KOEノKURA

水明苑「虹の会」最上川花火大会に寄付金

水明苑「虹の会」（塚田正義会長）が、6月26日（火）に役場を訪れ、庄司町長に大石田まつり最上川花火大会で打ち上げられる町民号の寄付金を手渡しました。「虹の会」は大会に毎年寄付を行っています。大変ありがとうございます。



首都圏大石田会総会・親睦のつどい



首都圏大石田会総会が6月17日（日）に東京都の銀座東武ホテルで開催されました。首都圏大石田会には、首都圏に暮らす大石田町出身者など約200名の方が加入しています。35回目の開催となった今年の総会には約90名の方が出席しました。

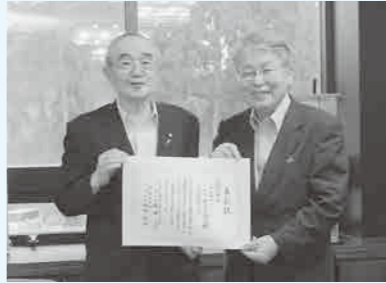
親睦のつどいでは木村里美さんが民謡を披露したほか、「舞友会」（遠藤慶子代表）が大黒舞や花笠踊りを披露。踊りの輪には会員の方も加わって、楽しいひと時を過ごしていました。

犯罪のない明るい地域を



「社会を明るくする運動」広報キャラバンが7月2日（月）に町内一円で行われました。この運動は罪を犯した人の立ち直りを地域で支え、犯罪や非行のない社会を築こうというもので、7月は強化月間です。役場正面玄関で出発式が行われたあと、町の保護司会（森昇一会長）や更生保護女性会（佐藤玲子会長）らが地域社会の協力を呼びかけ、町内を回りました。

「町民の森」にビオトープ顕彰



大石田町民の森が、多様な動植物が共生する環境「ビオトープ」の保全に取り組むNPO法人日本ビオトープ協会によるビオトープ顕彰の地域貢献賞を受賞しました。

県内では初めてとなる受賞は、平成7年の整備以来20年以上にわたり質の高い自然環境が維持されてきたことが評価されたものです。

衝突実験で事故の怖さ学ぶ



かもしかクラブが各保育園で行われ、園児らがダミー人形「とびた君」を使った交通事故の実験で事故の怖さを学びました。子どもたちは、自動車が急ブレーキをかけても間に合わず人形が跳ね飛ばされてしまう様子を目の当たりにして、事故の怖さを体感していました。

実験のあと、園児らは道路に飛び出さないことなど交通ルールを再確認していました。

8月の主な行事予定

日	行事予定
5(日)	クリーンアップおおいだ／午前6時／町内一円 大石田町地区対抗親善野球大会／午前8時／大石田中学校グラウンドほか
6(月)	母子健康手帳交付／午後1時30分／役場相談室
8(水)	心配ごと相談／午後1時30分～4時／社会福祉協議会 行政相談／午後1時30分～3時30分／虹のプラザ小会議室
9(木)	年金相談／午前10時～午後3時／役場101会議室 ※新庄年金事務所への事前予約が必要です。 Tel 0233-22-2050
13(月)	地区対抗親善野球大会／午前8時／大石田中学校グラウンドほか
14(火)	地区対抗親善野球大会／午前9時／大石田中学校グラウンド
15(水)	大石田町成人式／午前10時／虹のプラザ多目的ホール 維新祭／JR大石田駅前（オープニング／午後3時30分）
16(木)	大石田まつり／本通りほか（最上川花火大会／午後7時）
20(月)	大石田町戦没者慰霊祭／午前10時／虹のプラザ多目的ホール 母子健康手帳交付／午後1時30分／役場相談室
27(月)	農業委員会総会／午後3時／役場大会議室

※都合により日程が変わる場合がありますので、事前にお問い合わせください。

死亡事故ゼロ911日目

(7月15日現在)

大石田町の交通事故発生状況



(平成30年1月1日～7月15日)

- 発生件数 7件 (+0件)
- 負傷者数 10人 (-1人)
- 死亡者数 0人 (±0人)

※()は前年比

“明るいやまがた”夏の安全県民運動実施中
7月20日(金)～8月19日(日)
自転車乗車中の事故が多く発生しています。
道路横断時は「左右・前後」の確認を!

毎月1日は「大石田町民交通安全行動の日」

+ 日曜・休日急患の当番医

8月 診療時間：午前8時30分～午後5時

日	当番医院名	電話
5(日)	加藤クリニック	(22)9877
11(土)	後藤医院	(35)2034
12(日)	さかえクリニック	(53)8181
19(日)	おくやま内科医院	(24)0980
26(日)	神林内科小児科医院	(35)2202

家族の健康管理に気をつけて

短歌

あなたの文芸欄

俳句

東山あぢさる園は梅雨のなか花やぐ杜を風ふき抜ける
青ピンクまたむらさきの花が咲く「あじさいの杜」に笑顔で集ふ
あぢさるの花咲く杜を杖つきて小径多きに迷ふも愉し
貧血と思いつつ乗る満員の電車の中の湿度は高く
家族皆先に逝きしし吾の友ひとりさびしく黄泉の旅路に
紫陽花の歌を詠まむと新庄に訪ねきし日は雨空となる
美しはひそけくあるか紫陽花の萼の四片は色白くして
青春の掉尾過ごせしこの街を浦島太郎となりて見さくる

海 伊 杜 佐 小 鈴 鈴 加
藤 藤 々 々 玉 木 木 藤
忠 哲 匠 昭 春 多 智 勝
男 夫 一 治 歌 喜 恵 利

松 誘 父 大 石 松
ふ や の 石 田 誘
青 妻 の 日 や 妻 田
田 妻 妻 妻 妻 妻
渡 一 一 一 一 一
る 献 献 献 献 献
酒 灘 灘 灘 灘 灘
の 碑 碑 碑 碑 碑
守 守 守 守 守
つ つ つ つ つ
、 七 七 七 七 七
じ や 分 分 分 分 分
ち ち ち ち ち
咲 咲 咲 咲 咲
き 花 花 花 花 花
腹 今 正 今 正 今 正
当 正 正 正 正 正
の 今 今 今 今 今
模 今 今 今 今 今
様 今 今 今 今 今
気 今 今 今 今 今
に 今 今 今 今 今
入 今 今 今 今 今
り 今 今 今 今 今
児 今 今 今 今 今
が 今 今 今 今 今
自 今 今 今 今 今
慢 今 今 今 今 今
花 今 今 今 今 今
の 今 今 今 今 今
上 今 今 今 今 今
で 今 今 今 今 今
寄 今 今 今 今 今
り 今 今 今 今 今
添 今 今 今 今 今
つ 今 今 今 今 今
て 今 今 今 今 今
を 今 今 今 今 今
り 今 今 今 今 今
蝸 今 今 今 今 今
牛 今 今 今 今 今

星 土 芥 木 柏 榎 五十 青
川 屋 藤 村 倉 本 十 木
紀 忠 静 満 ヤ 杉 隆 ミ
一 子 子 喜 ス 香 司 女
郎 子 子 子 子 子 子 子

別冊

おいしだものがたり

～資料館資料編～

“うしのこにこゝろなくさむゆふまぐれ”

松尾芭蕉筆『五月雨歌仙』より

元禄2年5月30日(1689年7月16日)、大石田の最上川辺にある高野一栄宅で、芭蕉・曾良・一栄・川水の四人で巻いた「五月雨歌仙」が満尾しました。その後芭蕉は「その辺を散歩し、帰ってから何かを書いていた」(曾良日記)ことから、この歌仙36句を清書していたと思われます。『おくのほそ道』では「わりなき一卷残しぬ。このたびの風流ここに至れり」と満足そうです。

幸い芭蕉真蹟の「わりなき一卷」は現在も大石田に残っています。歌仙の発句(第一句)は「さみだれをあつめてすゝしもがみ川」で、一栄宅から眺めた最上川を、一栄らに対するあいさつの意味を込めて詠んだものです。この後実際に舟で下った体験などから、『おくのほそ道』では「早し」と改められたのでしょう。

この発句に一栄は「岸にほたるを繋ぐ舟杭」と、芭蕉と曾良をねぎらいながら、その逗留を喜ぶ脇句(第二句)を付けます。一栄は舟問屋兼組頭でこのとき54歳。3句目で曾良が「瓜ばたけいざよふ空に影まちて」と視点を広げると、高桑川水が「里をむかひに桑のほそみち」と続けます。川水は大石田の村の大庄屋(このとき隠居で芭蕉と同じ46歳)です。そして5句目が、前に掲げた一栄の「うしのこに」の句となります。

ところで、俳諧(連句)において芭蕉は「停滞」を嫌い、「歌仙は36歩なり、1歩も後に帰る心なし」と説いています。前の句の句意を感じ取りながらも、全く異なるものを詠むような大胆な発想の転換が求められます。また、打越(前の前の句)と同じ内容の句も嫌われます。

では、「うしのこに」の句はどうでしょうか。前の句を受けて夕暮れの静寂が詠まれています。「桑のほそみち」あたりに仔牛がいるという景で、望ましい発想の飛躍や進展が見られません。さらに「ゆふまぐれ」の表現は、打越の曾良の句「いざよふ空」から離れきれいていません。前出の芭蕉の俳諧信条としては、歌仙への採用基準を満たしていないとも受け取れますが、これが敢えて見逃されたのは、この句の素直さと抒情性のためだったのだろうといわれています。(高藤武馬『奥の細道歌仙解釈』)ここに芭蕉が「水雲重しふところの吟」と俳諧らしく漢詩調で続けます。漂泊の詩人が、垂れ込める雨雲の下歩いて行く姿を詠み「さあ、進みましょう」と促しているのです。

芭蕉の指導のもと出来上がった歌仙を追っていくと、素朴で熱心な大石田の俳人二人が芭蕉を深く尊敬し、必死に教えを請おうとする姿が浮かんできます。また、川水が途中まで出迎えたことや、一栄と二人で途中の薬師堂まで見送り、その際芭蕉ばかりか曾良のためにも馬を用意したことなどから、精一杯のおもてなしをしようとする一栄と川水の心が伝わってきます。だからこそ芭蕉も敢えてこの歌仙を清書し、この地に残してくれたのではないのでしょうか。

大石田町立歴史民俗資料館 館長 佐藤 里美

奥の細道サミット開催記念特別展「松尾芭蕉と大石田の俳諧展」は7/29(日)まで



楽がき帳

町の人口 平成30年7月1日現在

世帯数	2,354戸	(-1)
総人口	7,170人	(-18)
男	3,512人	(-13)
女	3,658人	(-5)
(6月中の異動)		
出生	0人	転入3人
死亡	10人	転出11人

※この人数は外国人も含めたものです。

連日暑い日が続くなか、維新組は維新祭に向けて大石田小学校の体育館で夜間の練習をしています。先日は、午後6時半ごろに体育館の鍵を開け気温を確認すると室温は32度。窓など開けられるところはすべて全開にしていたのですが、帰りぎわ午後9時ごろに気温を見てみるとまだ30度ありました。水分と休憩をしっかりとって熱中症に注意しながら、本番に向けて頑張りたいと思います。

さて、中学生の職場体験学習、役場総務課で体験をされた大山さんと小玉さんのお2人に、2ページ分の紙面を作成していただきました。2人には事前にも伝えていなかったのですが、突然カメラを持たされてかなり戸惑ったと思いますが、積極的に仲間や大人たちと話を聞き、真摯に取り組む姿がとても印象的でした。そして私も仕事について考える機会になりました。(あ)